

新しい形と暮らしを提案する

# モダン囲炉裏の制作者たち

火を扱う楽しみ、そして、火のある雰囲気、ゆとりを十分に味わうことができるモダン囲炉裏。テーブル式や座卓式など新しい時代の囲炉裏づくりに今、こんな人たちが携わっています。

撮影 雨宮秀也 取材 文 遠藤綾子

「大きな三角テーブル囲炉裏には人を引き寄せる力があるんです」

馬場健二さん（木工作家）



「味があって美しいというものをつくっていききたい」と馬場さん。

大学では油絵を学び、その後、江戸指物を修業したという経歴を持つ、馬場健二さんは、数年前からいろいろな形や大きさのテーブル囲炉裏を制作しています。「店舗の囲炉裏は十数年前から手がけていたんですが、四年ほど前に家庭料理の店の設計を頼まれた際、大きな三角形のテー

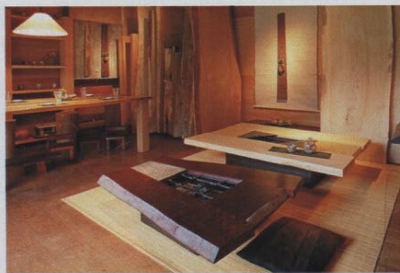


ブル囲炉裏をつくりました。三角形だと人はコーナーごとに座ります。すると、火を間に置きながらうまい具合に視線を外せる。しかも大勢で一緒に話もできるんです。とても好評だったこの作品が、オブジェでありながら用途のあるものをつくりたいと考えていた馬場さんの創作意欲

上・座卓式の囲炉裏。木工房・んの展示室には常に数点、囲炉裏を展示。  
◆馬場健二さんのテーブル囲炉裏展示のお知らせ ◇日程：11月3日～10日 場所：大丸東京店10階アートサロン 北大路魯山人展にて三角テーブル囲炉裏を展示。◇日程：11月13日～24日 場所：木工房・ん モダン囲炉裏と創作雑人形二人展。三角テーブル囲炉裏のほか、座卓式や四角形のものも展示。◇日程：11月28日～12月13日 場所：東京・世田谷の伊佐ホームズ頼田モデルハウス ※以上問い合わせは、木工房・んまで。

を刺激、さらに深く馬場さんをテーブル囲炉裏づくりに向かわせるきっかけになったのです。「炭火を見ているだけでとても落ちつきます。この囲炉裏でししやも焼きながら一杯やると最高なんです。自然から遠ざかれば遠ざかるほど、人間には火に憧れる部分があるのかもしれないね」

三角テーブル囲炉裏を置いたことによって、自然に家族が集まり、親子の会話が増えたと喜んでくださったお客さまもいらしたとか。一つの大きなテーブルで火を囲みながら話す、食べる、飲む。同じ空間と時間を共有する。なるほど、何をするでもなくとも皆の気分がなごみそうです。



上・展示室には陶器やガラス器も展示。右・座卓式の囲炉裏。炉の部分には鉄と竹の2種類の蓋ができる。撮影協力/山の上ギャラリー 問い合わせ/木工房・ん 神奈川県横浜市戸塚区小雀町117-1 ☎045(851)8488

